

リニア駅周辺整備実施設計の策定に向けた活動について ＜第 3 期 時点修正案＞

令和 2 年 11 月 24 日
リニア推進特別委員会
委員長 井坪 隆

はじめに

リニア推進特別委員会では、令和 2 年 3 月 16 日開催の委員会において「リニア駅周辺整備実施設計の策定に向けた活動について＜第 3 期＞」を確認しました。

その後、北陸新幹線新高岡駅建設から見るリニア駅整備事業の財政に関する調査研究、定例会における協議などを実施してきました。

しかしながら、その後の新型コロナの感染拡大を受けて、**活動の進捗に遅れ**があるものの、残り任期が半年余りとなる中で到達点を目指していきたいと考えます。

こうした中で開催された 10 月の議会報告会において、特に北部ブロック（座光寺、上郷地区）から、**議会、及び当委員会の活動に対するご意見**をいただいたことなどから、これらもあわせて今後の**活動の時点修正**を行いたいと考えます。

1. 活動の目的

現状の課題の把握により、令和元年 12 月策定の「リニア駅周辺整備基本計画」を尊重したうえで、実施設計に向けての研究を行う。

- 1) 主要な課題の再認識
- 2) 駅周辺整備にかかる市民の意見の把握
- 3) リニア駅周辺整備実施設計に向けた提言の整理

2. 今後の活動について

1) 委員会の開催

- ・目的 執行機関側から、それぞれのテーマの進捗状況の説明に合わせて、特に地元などから寄せられている意見、要望について説明を受け、質疑応答を行う。
- ・日程 11 月 24 日（火）10：00

2) 知見を交えた研究（調査研究活動）

- ・ 目的 駅周辺整備に関する専門家からの知見を得る。
- ・ 日程 12 月 11 日（金）18:00 （19:30 頃までには終了）※調整中
- ・ 場所 第 2 委員会室
- ・ 内容 駅周辺整備基本計画を基に「社会的見地からの郊外駅の在り方」「ウィズコロナの時代の新幹線」などをテーマとした講義。
※コロナが感染拡大にあるため、専門家を招聘せず「リモート」による講義を受ける。
- ・ 専門家 櫛引素夫先生
：青森大学教授、地域ジャーナリスト、専門地域調査士。
1962 年青森市生まれ。東奥日報記者を経て 2013 年より現職。東北大学大学院理学研究科、弘前大学大学院地域社会研究科修了。
整備新幹線をテーマに研究活動を行う。飯田信用金庫と交流があり飯田下伊那の事情にも精通。

3) 新交通網（MaaS、自動運転）とリニア駅に関する研究（調査研究活動）

- ・ 目的 今後急速に開発が進み、サービス展開されることが予想される新交通網とリニア駅について展望する。
- ・ 日程 調整中
- ・ 内容 研究を進めている機関、団体との意見交換など。

3. 委員会の進め方

「リニア駅周辺整備基本計画」（デザインノート）を尊重したうえで、調査研究から考察する実施設計に向けての委員会としての意見・要望・提言の「まとめ」に向けた作業を行う。

なお、「まとめ」は議会として共有したうえで市長への提言を目指す。

以上